

とよなか



まちづくり 手帖

平成29年(2017年)
10月発行

第2号

長く空き家だった町家。
生まれ変わって
大活躍!!



INDEX

- それゆけ! まちづくり探検隊!! 1・2P
~京都市東山区・六原学区~
- 益城町被災地支援報告 3・4P
- まちづくり協議会の総会が開催されました 5P
- まちづくり人リレー 6P
- 第23回まちづくりセミナー 7P
空き家ではじまる 空き家から広がるまちのみらい
~京都市東山区・六原学区のメソッド~

〈空き家を改装して店舗に(京都市東山区・六原学区)〉

(回覧)

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |



それゆけ!

まちづくり探検隊!!

このコーナーでは、マチカネくんが豊中市を飛び出してまちづくり活動をしているさまざまなまちを探検するよ!

京都市 東山区・六原学区



六原本通

こんにちはワニ〜。今回探検するまちはここ!
『京都市東山区・六原学区』。豊中市から電車で約1時間。清水寺と鴨川の間、五条通北に位置し、学区内には古い町屋など家屋が密集していて、六波羅寺などのお寺や神社もあるんだって。楽しみだワニ〜♪
いってきま〜す〜♪

菅谷さん。今日はよろしくお願
いします!地域のまちづくりを
20年も続けるってすごいワニ〜。
どうしてまちづくり活動を始め
ようと思ったワニ?

マチカネくん、こんにちは。六原学区へようこそ!
六原学区では、阪神・淡路大震災をきっかけに地域のつながりの大切さを実感し、平成12年に六原自治連合会を発足しました。自治連合会を発足した当初は、学区内に自治会館や公園がなく、集える場所が地域にほしいという住民の声を背景として、地域を良くしたい一心で活動を進めていました。私はそのような中、PTAなどの活動からまちづくり活動を行うようになりました。

六原自治連合会 事務局長
すがたに ゆきひろ
菅谷 幸弘さん



わ!お洒落な
お店発見!
美味しそうなお
やつがいっぱいだ
ワニ〜♪

ここは、もともと空き家でしたが、町屋の可愛らしさを残しながら改修を行い、現在1階はカフェ、2階はゲストハウスとして活用されています。

六原学区では、行政や大学の調査に協力する形で空き家の取組みをスタートしました。平成20年に空き家調査を行うと空き家率が14.9%と全国平均より高いことがわかり、少子高齢化により、今後一層空き家問題が深刻化するのではという不安の声が上がりました。この課題に対して、自治連合会の有志が集まる住民主体の「六原まちづくり委員会」を発足し、行政の補助事業が終了した後も地域自主型組織として、空き家活用の取組みを進めています。空き家は、所有者だけでは解消が難しく「六原まちづくり委員会」が間に入ることで、片づけや改修を支援し、新たな借主と結びつけるなど空き家の利活用へと導いています。

空き家を
ギャラリーに
改修した取組
もあるワニ〜。

(空き家を改修したギャラリー)



(六波羅寺)

今回ボクと一緒にまちを探検してくれるのは...
六原自治連合会事務局長の菅谷幸弘さん。菅谷さんは、六原学区で生まれ育ち、長年地域のまちづくりに取り組まれているんだって。

さあ!!
今回もぼくと一緒に
大冒険の
はじまりワニー!

片づけ前



片づけ後



きれいに
なった
ワニ〜♪



ゴミがいっぱい
出たワニ。



片づけをおこなった
「六原まちづくり委員会」のみなさん

右の写真は、地域でこれ以上空き家を増やさないための、予防啓発セミナーを行っているときのものです。少子高齢化により今後増加が見込まれる空き家を少しでも減らすため、継続した地道な活動も行っています。



おもしろい
名前の通りが
いっぱい
ワニ〜♪



「空き家の手帖」とい
う冊子も地域で作成し
て、啓発活動に役立
っているんだって!

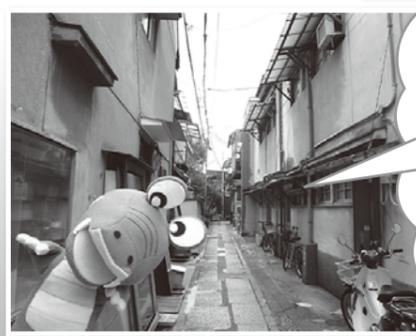
これは、災害時に開いて、
二方向避難ができる扉なん
だって。逃げ道が一つしか
ない小さな道だと、これが
あれば安心だワニ〜。



六原学区では、空き家の取組みを進める中で、学区内に約90本もの小道があることなどから防災の取組みにも注目するようになりました。そこで、路地1本1本に住民で名前を付け、消防指令センターにも登録してもらいました。「路地」と付くものは通り抜けできない道、「小路」と付くものは通り抜けできる道を示しています。その結果、道の名称を伝えるだけで場所がすぐ分かり、住民のみならず緊急車両の到着にも役立てられています。



災害時の集合場所や避難所、AEDの設置場所などが記載された「六原あんしんあんぜんマップ」。詳細な地図に、小道の名前も記載されていてとてもわかりやすいワニ〜。

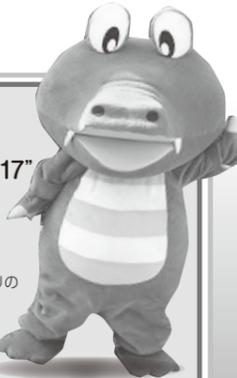


菅谷さんありがとうございました!
空き家の取組みや防災の取組みなど、
住んでいる人がまちを大切に思って、
長い間まちづくり活動を続けてこら
れたのはすごいワニ〜♪
ここで紹介したのはほんの一部。もっ
と詳しく知りたい人は、11月15日開催
のまちづくりセミナー(P7参照)で聞
くことができるワニ!!
みなさんぜひ参加してほしいワニ〜!!

ボク、「マチカネくん」は、
11月10日まで開催中の
「ゆるキャラグランプリ2017」
にエントリー中ワニ〜。
投票、応援よろしくワニ〜♪



ゆるキャラグランプリの
マチカネくん
投票ページへ簡単に
アクセスできます



益城町被災地支援報告

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震。震源地である熊本県熊本地方周辺に大きな被害をもたらし、現在も復興活動が続いており、本市では、職員派遣を通して被災地支援を行っています。

このコーナーでは、平成 29 年 4 月から 9 月までの半年間を通して、熊本県上益城郡益城町に派遣された都市計画課景観形成係主査の上野健太郎の現地での活動をお伝えします。



派遣職員
上野 健太郎

熊本の復興はまだまだです。皆さんの支援の力が必要です！



益城町 (ましきまち)



町の花(ウメ)
町の鳥(ウグイス)

熊本県のほぼ中央、県庁所在地である熊本市の東隣に位置しています。総面積は本市より広い 6,568 ヘクタールですが人口は 33,909 人のまちとなり、山林・台地・河川などの多様な自然環境に恵まれた都市近郊型の住宅地が広がっています。熊本地震では、震源地に近かったため、震度 7 を 2 回、震度 6 を 5 回観測。複数回にわたる大きな揺れにより、甚大な人的被害・家屋被害がありました。



派遣期間中の業務内容

- 建築確認申請に関する業務
建築物等を新築などする際の確認申請に関する申請者との協議
- 戸建て木造住宅耐震改修等の補助金申請業務
耐震改修設計、耐震改修工事、建替え工事、耐震シェルター工事に要する費用の一部を町が補助
旧耐震基準 (S56.5.31 以前建築) のものだけでなく、新耐震基準 (S56.6.1以降建築) のもので熊本地震により罹災し、倒壊のおそれの有るものも対象としている。
- 町営団地(4 団地)熊本地震災害復旧工事
熊本地震により罹災した町営団地の改修工事
地震により傾斜した団地の傾斜修復工事や外壁補修、内部補修、外構補修などを実施。
- 被災宅地復旧支援事業
熊本地震で被災した宅地について、被災者等の負担軽減を図り、生活再建を支援するために、被災者等が行う宅地の復旧工事等に要する経費の一部を町が補助
対象工事は、擁壁・地盤の復旧工事や液状化地盤の地盤改良工事、住宅基礎の傾斜修復工事など。

熊本地震のその後といま

昨年の熊本地震では、たくさんの方が長年住み慣れた住まいを失い、日々の安らぎある生活を奪われてしまいました。震災後、早々と移住を決意した人もいますが、長く不便な避難所生活を強いられた後、プレハブ仮設住宅や公営住宅などで生活する人や、やむなく一時的に町外へと住まいを求めた人もいます。そのような中、震災前と全く同じとはいきませんが、益城町のみなさんは、前を向き日々の生活を送ろうと必死にがんばっています。



〈震災発生時の木山交差点の様子〉

被災地の活動で感じたこと

震災から1年以上が経った現在では、再出発をめざす人々が生活再建に向け、歩みだしています。また、支援・助成制度が数多く創設されています。しかし、一言に再建といっても簡単ではありません。人の数だけこれまで歩んできた道があり、それぞれ事情が異なります。住み慣れた場所で普段の安らぎある生活を一刻も早く取り戻すことができるように、個々の話をしっかり聞き取り、状況を把握した上で、それぞれの方にあった生活再建支援の道を提案することが、私たちに求められる役目であると感じました。



〈復興作業が進む現在の木山交差点の様子〉

熊本地震が示すもの

災害は、いつどこで起こっても不思議ではありません。「自らの身の安全は自らが守る」という防災の原点にたつて、熊本で発生した地震を自身や自分の住む地域に置き換えて考えてみるなど、日頃から防災意識を高め、知識を深めておくことが大切です。建築の観点からいうと、建物の耐震化を進めることが重要かと思います。

国土交通省の調査結果によると、益城町では、旧耐震基準 (S56.5.31 以前建築) の建物のうち 28.2%、新耐震基準 (S56.6.1 以降建築) の建物のうち 6.9% が熊本地震により倒壊したという調査結果が出ています。しかし、より耐震性の高い住宅性能表示制度の耐震等級 3 (新耐震基準の約 1.5 倍) を満たした建物では、倒壊はありませんでした。

これらの結果から、より高い耐震基準を満たした建物ほど、倒壊のリスクは低くなるのが分かります。



派遣期間中は益城町と豊中市との絆を表すオリジナルポロシャツを着用していました。ポロシャツの背中にはくまもと Toyonaka の文字が入っています。

みなさんへのメッセージ

旧耐震基準 (S56.5.31 以前建築) の建物については、市の助成制度を活用し、建物の耐震化を図ることで、また、これから家を新築する場合は、住宅性能表示制度の耐震等級 3 (新耐震基準の約 1.5 倍) を満たすなど耐震性の高いものを建築することで、地震での倒壊のリスクをかなり軽減できると思います。大地震などの天災は避けようがないものですが、もしもの時に少しでも命と生活を守るために、みなさん一人一人が自覚を持っていただき、日頃から準備をしておくことが大切です。

まちづくり協議会の 総会が開催されました

豊中駅前まちづくり推進協議会

豊中駅前まちづくり推進協議会の平成29年度総会が、5月16日に大池コミュニティプラザで開催されました。事業計画については、前年度から始まった「けやき通りを花で飾る取組み」として、権利者が主体となって自ら花を育て、通りを飾る運動を応援することなどが承認されました。



〈平成29年度 総会の様子〉

平成29年度 事業計画 (抜粋)

1. 「みんなで育てるまちづくり」に取り組む

- ・まちに花や緑を育てる「花のまちづくり」を広げていく。
- ・まちづくり活動の情報を定期的にタイムリーに発信する。
- ・「七夕まつり」の一役を担い、まちの賑わいづくりに協力する。
- ・「まちづくりワークショップ」の見直しをする。
- ・会員を増やすとともに、活動資金を増やす。
- ・豊中駅前まちづくり会社との連携を強化する。

2. 「ゆっくり楽しく歩き回れるまちづくり」に取り組む

- ・けやき通り（ホテルアイボリー前の道）を楽しみながら行き来する人たちが増え、その魅力が高まる活動を行う。
- ・スクランブル交差点改良工事の抜本的な計画が早期に実現されるよう大阪府・豊中市に働きかける。
- ・自転車の安全走行の啓発活動を継続する。
- ・豊中駅とけやき通りを繋ぐ人口デッキ（歩道橋）の設置を豊中市に粘り強く働きかける。
- ・「駅への新道づくり」の計画が進むよう豊中市とともに取り組む。
- ・まちの決め事（地域のルール）づくりを進める。



おかまち・まちづくり協議会

おかまち・まちづくり協議会の平成29年度総会が、6月29日におかまち・あーとらんどyou2で開催されました。

第1部では、前年度の活動報告や今年度の文化事業や商店街活性化などのプロジェクトをメインとした事業計画などが承認されました。また、第2部では、NPO法人とよなか・歴史と文化の会の瀧 健三氏をお迎えし、「能勢街道と岡町・桜塚」と題した講演会が行われました。



〈能勢街道（現在の岡町近辺）〉

平成29年度 事業計画 (抜粋)

1. 文化事業プロジェクト

- ・「能勢街道」を活用したグッズ製作の更なる継続
- ・「おかまち・まちの文化祭」の継続と夜店大会への参加・協力
- ・おかまち・あーとらんどの文化事業を継続し、「岡町落語ランド」を支援
- ・福祉会館等の建替えにあたり「おかまちは歴史文化」を発信する活動が反映され、地元活性化につながるよう地元や行政と協力しての取組みの推進

2. 商業・商店街の活性化プロジェクト

- ・老朽化した商業施設の改善に向けた取組みの継続や地域内の建替えなどの動きへの応援
- ・商業を担う次世代が参加しやすいイベント、勉強会の開催
- ・商店街の空き店舗対策の推進

3. 安全・安心のまちづくりプロジェクト

- ・商店街の「自転車押し歩き」活動の応援やPR
- ・想定を超えた災害に備え、講座・消防訓練の参加機会の設定
- ・ネットを活用した情報交換による地域のコミュニティ力の向上

4. 広報・情報発信プロジェクト

- ・広報誌「ルネッサンス広場」の発行とHPやSNSの活用



まちづくり人リレー



このコーナーは、自身の暮らすまちをより良くしたいと奮闘されている豊中のまちづくり人を紹介する連載です。



こばやし かずひさ

小林 和久さん（豊中駅前まちづくり推進協議会 事務局長）

小林さんは、阪急豊中駅の東側を中心にまちづくり活動を進める豊中駅前まちづくり推進協議会の事務局長です。まちの将来像『豊中駅前まちづくり構想』（平成7年市長へ提案）の実現に取り組まれています。

Q はじめにまちづくり活動を始められたきっかけを教えてください。

A 豊中駅周辺では、何もしなくても客足が順調に伸びていた時期がありました。昭和三十五年後半頃から状況が変わっていきました。さらに阪急電車の高架化に伴う駅西口の再開発計画があり、漠然とした危機感から商店街や市場の若手が集まり、まちを盛り上げるイベントを始めました。イベントはその時だけ人が集まりましたが、終わればいつもと同じ駅前となりました。そんな虚しさを抱えていたときに、市に相談し、市職員と勉強会が始まりました。週に1度みんなで検討する作業は夜遅くまで6ヶ月間続きました。その作業をまとめたものが「豊中駅周辺地域のまちづくりビジョン（素案）」です。当時私は新開地ビル（現マストメゾン）で商売をしていて、入っている施設の充実、歩行者空間の確保や駐輪場の設置など、身近な課題を何とかしないと人が来てくれない。自分の店や入っていた商業施設を良くするために始めたのですが、これがきっかけで駅前のまちづくりを考え、活動することになりました。

Q 活動していて良かったと思うことを教えてください。

A 商売人は自分の店にこもりがちですが、協議会で活動をしていると、新しい人との出会いやネットワークが広がり、広い世界が見えるようになりました。また、まちの主人公は自分たち住民であり、主体となってまちづくりを進め、役所はそれを支援する、そのためには「自立した市民」にならなければならないという自覚が生まれたことです。

Q 活動の成果を教えてください。

A 最も印象に残る成果は平成22年の刀根山道の舗装のやりかえ工事です。協議会が担当課に来てもらい説明会を開くと、「刀根山道は生活道路であり、車道もさることながら歩道整備こそが課題」という意見が大半でした。そこで担当課、本町3丁目や千里園の人たちとまちを歩き、課題箇所を確認し合いました。沿道住民の協力がなければ改善しない箇所があり、本町3丁目自治会と一緒にお願いにうかがうこともありました。その結果、植栽帯を計画していた部分の歩道が広がり、フタの無い側溝が無くなりました。歩道の色も住民が決め、整備され着色された歩道により、かなり歩きやすくなりました。当時、本町3丁目の自治会長は、「普通は突然看板が立って工事の周知がされるけれど、説明会があり、住民と話し合えるのは協議会があるからです」と言われました。そしてその後、協議会の仲間に入られたのが、今の協議会会長の辻本さんです。

Q 今後活動しようとしていることと目標を教えてください。

A 1つ目は、現在スクランブル交差点（大池小学校前交差点）の改良工事について大阪府池田土木事務所と協議しており、少しでも安全なものになるように改良し、まちのシンボリックな場所にする。そしてその先の大池小学校前の道路を駅へと繋ぎ、銀座通りを人が中心の道にすること。2つ目は、自転車に乗る人がルールを守り、歩行者を優先するまちづくりを地域や学校と市や警察が一体となって進めること。3つ目は、けやき通り（ホテルアイボリー前の道路）を人が安心して歩いて、花いっぱいのお洒落な雰囲気のある通りとする沿道の方々の取組みを応援することです。目標は、「まちづくり構想」“楽しくゆっくり歩き回れるまち”の実現です。

INFORMATION 第23回 まちづくりセミナー

空き家ではじまる 空き家から広がる まちのみらい

～京都市東山区・六原学区のメソッド～



六原学区内のまちなみ

第23回まちづくりセミナーでは、中面1・2ページでマチカネくんが探検に行った京都市東山区・六原学区での空き家活用によるまちづくりをテーマに開催します。講師には、六原自治連合会 事務局長の菅谷さんをお招きし、紙面ではお伝えしきれなかった空き家活用までの奮闘の経過をお話しいたします。

空き家問題とともにまちの課題であった防災まちづくりに関する取り組みを行うなど、空き家という点の取組みからまち全体の面的な取組みへと活動の幅を広げられている六原学区。

今回のセミナーでは、空き家活用のノウハウはもちろん、【住民主体の活動を軌道に乗せるには!!】【空き家をきっかけにはじまるまち全体の課題解決とは!!】などのポイントをご紹介します。

開催日 平成29年(2017年)11月15日(水)

入 場 無 料

時 間 午後2時～4時(開場午後1時45分)

手 話 通 訊 あり

場 所 豊中市立ローズ文化ホール 2階
豊中市野田町4-1 ※阪急宝塚線「庄内駅」から北へ500m

保育あり(有料、要事前申込み)

講 師 六原自治連合会 事務局長 すがたに ゆきひろ
六原まちづくり委員会 委員長 **菅谷 幸弘さん**

プロフィール 京都市東山区の六原学区に生まれ育つ。平成23年に六原自治連合会内に六原まちづくり委員会を立ち上げるとともに委員長に就く。以降、地域のリーダーとしてまちの課題である空き家と防災の課題解決に取り組む。



主催・申込み・問合せ 豊中市役所 都市計画課 地区まちづくり係
TEL:06-6858-2197 FAX:06-6854-9534
メール:machi@city.toyonaka.osaka.jp



市ホームページ「まちづくり支援」→「まちづくり講座・セミナー」→「まちづくりセミナー」をクリック
<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/index.html>

座席数に限りがございますので、できる限り事前に電話・ファックス・メールまたは市ホームページで、名前・電話番号・所属団体・保育の希望をご記入し、お申し込みください。

◀ホームページはこちら

コラム (とよなか～今・昔～) 桜塚商店街

阪急岡町駅から豊中市役所へと続く通りにある桜塚商店街の昭和44年(1969年)頃の様子です。この当時のアーケードは布製であったため、後年台風被害にあったことから、現在のアーケードに更新されています。また桜塚ショッピングセンターの建設前ということもあり、店舗などの様子は現在と大きく異なりますが、半世紀ほど前と同様に今も人通りが多くにぎわっています。



昭和44年頃 桜塚商店街



現在(平成29年9月)の桜塚商店街